

第46回試験研究成果発表会プログラム

酪農・肉牛部門

日 時 平成21年1月23日（金）10時20分～15時10分

場 所 さんぶの森文化ホール（さんぶの森公園内）

山武市埴谷1904-5（TEL 0475-80-9700）

成果発表

10:30 安価な発酵飼料給与による肉用牛の低コスト肥育技術の開発

畜産総合研究センター 生産技術部 乳牛肉牛研究室 小林正和

食品残さを活用した乳酸発酵飼料は肥育牛の嗜好性が良く、発育や枝肉成績は市販配合飼料給与区と同等であった。発酵飼料は高水分食品残さの飼料利用法として有効である。

11:00 乳用育成牛へのイタリアンライグラスの多給と配合飼料の給与水準の違いが発育と分娩後の生産性に及ぼす影響

畜産総合研究センター 生産技術部 乳牛肉牛研究室 西川潤

早期授精した乳用育成牛にイタリアンライグラスを多給し、配合飼料を制限しながら分娩予定2ヶ月前まで管理したが、発育も良好で、分娩後の乳生産性も高まる傾向を示した。

11:30 飼料イネサイレージの長期収穫・利用体系に対応した収穫調製技術

畜産総合研究センター 企画環境部 環境飼料研究室 細谷肇

飼料イネの普及は、高品質サイレージの安定供給と家畜への給与の拡大がポイントとなる。飼料増産に伴う長期の収穫と、通年を目指した長期貯蔵のための技術的方向性を示す。

情報提供

12:00 乳牛への稲発酵粗飼料給与について

畜産総合研究センター 生産技術部 乳牛肉牛研究室 石崎重信

今後、酪農家でのイネWCS給与が増加することが予測されるので、県内での給与状況、他県での試験結果や今年度収集したイネWCSサンプル分析結果等を紹介する。

13:00 イホールクロップサイレージ用の飼料イネ専用品種の特性

畜産総合研究センター 企画環境部 環境飼料研究室 細谷肇

実用化された飼料専用品種について、直播栽培により品種比較試験を実施した。各品種の生育特性と収穫成績および飼料成分の特徴を2年間の試験結果から紹介する。

13：20 安房地域酪農経営の構造分析

畜産総合研究センター 企画環境部 企画経営室 園原邦治

平成 16 年および平成 19 年の酪農全国基礎調査に基づき、千葉県内の安房地域における酪農経営の実態と経営内容がどのような要因と構造で決定されているか分析を試みた。

13：40 メタン発酵消化液由来の液肥を利用したトマトのかん水同時施肥栽培

農林総合研究センター 生産環境部 土壌環境研究室 岩佐博邦

乳牛ふんを用いたメタン発酵プラントから発生する消化液由来の液肥を半促成トマトにかん水同時施肥すると、慣行の液肥を用いた場合と同等の品質・収量が得られる。

14：00 「県産和牛ブランド化推進事業」における採卵及び移植の現状

畜産総合研究センター 生産技術部 生物工学研究室 坂元克弥

受精卵移植技術を利用した優良和牛の増頭を図ったところ、2年間で延べ43頭から744頭の胚を回収した。300頭に移植を行った結果、157頭の受胎を確認した。

14：20 発情後7日目の未経産牛の黄体機能と繁殖成績の関係

畜産総合研究センター 市原乳牛研究所 牛島仁

発情後7日目の直腸検査によって、人工授精後の受胎状況や発情周期を予測できることを明らかにした。これは、受卵牛の選定方法として有効であることを裏付ける証拠となる。

養豚部門

日 時 平成21年2月17日（火） 10時～12時

場 所 印旛合同庁舎2階大会議室（印旛農林振興センター隣）

佐倉市鎗木仲田町8-1（TEL 043-483-1128）

成果発表

10：10 止め雄の違いが三元交雑豚 LWD の産肉性と肉質へ及ぼす影響

畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 鈴木邦夫

系統豚の有効利用を図るため、止め雄としてユメサクラ、しもふりレッド、サイボクの3系統を交配した LWD の産肉性について比較したところ、ユメサクラの交配は良好な成績であった。

10：35 一般農場における乳酸菌製剤投与による事故率低減効果

畜産総合研究センター 生産技術部 生物工学研究室 中根崇

アルコール発酵もろみ中から単離した乳酸菌を一般農場で子豚から出荷まで長期投与したところ、離乳や移動ストレスによる下痢発生や事故率の低減に有効なことが示唆された。

情報提供

11:00 飼料用米の給与形態の違いが肥育豚の発育および肉質に及ぼす影響

畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 松本友紀子

2mm以下の粒度に粉砕した玄米および粳米の給与が、肥育豚の発育および肉質、脂質に及ぼす影響を現在調査中であり、その成果の一部を紹介する。

11:25 豚の慢性疾病低減に向けた取り組み

北部家畜保健衛生所 衛生指導課 青木ふき乃

平成18年度より一養豚組合10戸を対象にオーエスキー病(AD)清浄化と豚慢性疾病低減に向け、ADワクチンの一斉接種、豚舎の清掃・消毒の徹底等の指導を行ってきた。その概要について紹介する。

養鶏部門

日時 平成21年2月10日(火) 10時~14時

場所 成田国際文化会館 成田市土屋303 (TEL 0476-23-1331)

成果発表

10:10 高タンパク質・高脂質エコフィードの採卵鶏飼料への応用

畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 村野多可子

コンビニエンスストアから排出される高タンパク質・高脂質のエコフィードを市販採卵鶏飼料に10%、20%代替し、10カ月に渡り給与した結果、産卵成績は良好な成績を示した。

10:30 高タンパク質・高脂質エコフィードと低タンパク質・低脂質エコフィードの大さう期への給与

畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 村野多可子

71~140日齢の鶏群に高タンパク質・高脂質エコフィード17%と低タンパク質・低脂質エコフィード8.5%、高タン10%と低タン5%を給与した結果、良好な結果を得た。

10:50 エキспанダー克蘭ブル加工飼料配合による採卵鶏の排せつ物量低減化の検討

畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 徳丸洋一

エキспанダー克蘭ブル加工飼料を5%、10%、15%配合した採卵鶏用配合飼料をジュリアに給与し、排せつふん量及び成分、鶏卵の生産性などに及ぼす影響について調査した。

11:10 強制換羽用飼料利用による強制換羽の検討

畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 村野多可子

昨年とは異なる内容の低栄養価の飼料を給与し換羽に導いた結果、白玉卵産出鶏では良好な結果が得られたが、赤玉卵産出鶏では昨年同様改善はみられなかった。

情報提供

11 : 30 飼料用米の採卵鶏飼料への応用

畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 村野多可子
もみ米 60%、30%、玄米 60%、30%を配合した飼料を 120 日齢から採卵鶏に給与し、
産卵諸性能などを調査中である。

12 : 50 鶏の大腸菌性敗血症による急死症例

南部家畜保健衛生所 防疫課 羽毛田稔
高床式ウインドウレス鶏舎の採卵養鶏場において、前駆症状を伴わずに死亡羽数が増
加する事例がみられ、HPAI を視野に入れた病性鑑定を実施したところ大腸菌症であ
った。

13 : 10 採卵鶏の銘柄別性能比較試験

畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室 村野多可子
採卵鶏のボリスブラウン、シェーバーブラウン、ゴトウさくら、ハイラインソニア、
ジュリア、バブコック、ハイラインマリア、シェーバーEX の 8 銘柄について育成成績、
産卵諸性能、卵質、糞中水分率などを調査した。